

# きずな

2008年 3月 6日

NO 688

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (TEL 62-6200)

3月3日に開会した井原市議会3月定例会で、瀧本市長が平成20年度予算編成の基本方針と主要施策について所信表明を行いました。その内容の概要を紹介いたします。(紙面の都合で一部割愛しています)

平成20年度の予算案については、財源確保が厳しい中であっても、井原市第6次総合計画に掲げる将来都市像「美しい自然、息づく文化、笑顔でつながるひと、元気発信都市 井原」の実現を念頭に、新たな行政需要にも柔軟に対応できる財政基盤を堅持し、優先順位の厳選と、限られた財源の重点的、効率的な配分を基本に、予算編成を行った。その結果、一般会計予算案の規模は、175億9千万円となり、本年度当初予算額との比較では、2.9%減になった。特別会計では、国民健康保険事業など10会計で、133億9382万円。水道、病院、工業用水道の企業会計では、37億7875万2千円を計上しており、合わせて平成20年度の予算総額は、347億6257万2千円となった。市政の基本方針について「井原市第6次総合計画」の前期基本計画最終案に基づき順次申し述べます。

## 1. 心豊かでたくましいひとを育てるまちづくり

**学校教育**・・・\*確かな学力と豊かな心の育成のため、理科支援員の配置、少人数指導やチームティーチングによるきめ細かな指導のほか、学習支援員を増員することにより、特別支援教育を一層進めてゆく。\*このたび明治小学校と幼稚園、共和小学校と幼稚園が歴史を閉じ、芳井小学校と芳井幼稚園にされますが、明治、共和地区の子どもたちが安心して通学できるよう、スクールバスの運行確保など、万全を期してゆく。

**学校施設の整備**・・・\*施設の耐震化が急務となっていることから、耐震化優先度調査結果に基づき、計画的に取り組むこととし、小学校では校舎3棟、体育館1棟。中学校では校舎、体育館それぞれ1棟の計6棟の耐震診断を実施する。\*安心・安全な環境整備では、井原学校等のネットフェンス、門扉等新設工事。稲倉小学校等のプールサイド改修工事に取り組む

**社会教育の推進**・・・\*日常生活における笑いが生涯学習に通じるということから、市民の学習の場に笑いを取り入れ、笑顔溢れるまちづくりに努める。\*稲倉公民館敷地造成工事、各公民館に配備しているパソコンの更新など施設整備の充実を図り、市民の自発的な学習活動を支援してゆく。\*スポーツ活動の充実では、引き続き競技力の維持向上と新体操のまち井原を目指した育成強化を初め、市民に勇気と感動を与えてくれた高校駅伝を支援してゆく。\*芳井中学校夜間照明の改修、陸上競技場鉄骨スタンド塗装、野球場防球ネット新設の営繕工事並びに井原体育館の耐震診断を行う。\*井原市民会館では、多くの市民に文化活動の拠点として活用されるよう努める。文化事業では、恒例の市民大学を始め、NHKラジオの公開録音やコンサートなどを計画している。

**地域文化の振興**・・・\*井原歴史人物伝の発刊に続き、文化財への保護意識の高揚を測り、郷土の歴史を学ぶ資料として文化財マップ及び文化財紹介冊子を作成する。\*芳井町史の資料編、通史編の全巻発刊を記念してシンポジウムを開催する。\*田中美術館は新館が開館して25周年迎える。春に特別展を、秋には日本の原風景を描き続けた画家向井潤吉作品展を企画。入館者の安全性と利便性を向上させるためエレベーターをリニューアルし、美術鑑賞の環境整備に努める。\*新たにブックスタート事業を開始する。

## 2. いつまでも健康で、はつらつと生きるまちづくり

**笑い与健康**・・・\*笑い与健康を広く普及・啓発し、健康寿命日本一に向けた取り組みを着実に推進するため、新たに「笑って健康、元気アップ事業」を展開する。この事業は、笑い与健康講演会の開催や、笑顔の写真・絵画コンテストを実施するほか、笑顔の体操の講師派遣など、誰もが無理なく参加できるものを予定しており、笑いの効能による健康づくりであると同時に、市民生活の活力向上に資するものです。

**市民の健康づくり**・・・\*食育の推進を盛り込んだ新たな井原市健康増進計画「健康井原21」を作成し、健康づくり運動の指針とする。\*母子保健では、妊婦健康診査の5回までを助成し、特に第3子以降には回数に関わらずすべてを助成するほか、新たに新生児、聴覚検査に対する助成を実施する。\*予防接種では、中学校1年生と高等学校1年生を対象に、麻疹・風疹混合ワクチンの公費接種を実施する。\*後期高齢者医療制度が創設されるが、市民の健康指導に引き続き努める。\*特定健診及び特定保健指導への取り組みは、平成20年4月から従来の基本健康診査に替えて、メタボリックシンドロームに着目した健診と保健指導を実施する。国民健康保険、社会保険それぞれに所属の保険から健康案内が届くので、受診の上、自身の健康チェックを行ってほしい。メタボ該当者やメタボ予備軍と判定されて場合は、保健指導を受けていただくが、異常無しの判定の場合でも食生活を振り返り運動の習慣化などにより、健康の維持向上に努めてほしい。\*高齢者福祉については、引き続き「地域包括支援センター」を中心に、総合相談や家族介護教室等を積極的に実施する。介護予防に重点を置いた施策を推進する中で、新たに要介護・要支援認定のない65歳以上の全市民を対象に、生活機能評価の受診券を配布し、機能検査に取り組むとともに、高齢者の介護予防に対する意識の向上と実践に努める。住み慣れた地域で安心して介護が受けられることを基本に、地域密着型サービス施設を順次整備するなど、サービスの質的向上にも努める。新年度では、高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画の第4期の事業計画を策定することにしており、多くの意見を集約し、高齢社会に対応した実効性の高い施策を展開する。

**井原老人福祉センターの立替**・・・\*利用者に愛着があり小田川の清流、桜堤といった自然環境に恵まれた現在地において整備することとしました。この交流館は、高齢者福祉の充実はもとより、市民誰もが利用できる健康増進施設としての機能も付加したい。新年度に実質調査並びに詳細設計をすることとしている。

**障害者福祉**・・・\*今後さらに障害のある人の地域生活への移行や就労支援を推進し、障害のある人もない人も安心して暮らせ、障害のある人の社会参加と自立を支える社会を実現することが求められている。新年度には、本市の障害者施策の指針となる「障害者福祉計画」「障害福祉計画」を改定する。



**児童福祉**・・・\*昨年4月の西江原幼児園の開設により、幼稚園と保育所の相互の交流・連携の強化に加え、公民館活動との連携を図り、地域住民との活発な交流を行うなど、就学前教育を鋭意推進し、幼児教育の充実に努めている。\*学童保育については、各クラブとも指導員の確保に大変苦慮されていることから、新たに指導員確保のための財政支援を行うこととした。

**地域医療体制の充実**・・・\*とりわけ市民病院における医師確保の問題については、非常に厳しい状況が続いており、明るい展望が見出せない状況にあります。こうした中にも地域医療の中核病院として医療関係団体との連携を深め、市民に安心いただける医療の確保に努める。また、国において経済財政改革の基本方針2007を踏まえた、公立病院改革ガイドラインが策定され、病院事業を設置する地方公共団体においては、このガイドラインにそって平成20年度中に経営効率化、再編ネットワーク化、経営形態の3つの視点から公立病院改革プランを策定することとされた。市民病院におきましては近隣公立病院との協議を踏まえプランを策定することとしている。

### 3. 美しい自然を未来につなぐまちづくり

**環境**・・・\*ごみの減量化や資源化による持続可能な循環型社会の構築及び生活排水等による河川汚濁の適正な処理に向けて、本年度策定の「一般廃棄物処理基本計画」を着実に実施していく。ごみ焼却場や廃棄物埋め立て処分場については「新潟県ごみ処理広域化計画」で示された広域での対応が求められており、西部ブロック構成3市2町により協議をしていく。



### 4. 活力と交流を生み出すまちづくり

**交流機能の整備**・・・\*星の郷青空市周辺の整備は、駐車場舗装工事のほか特産館の建設に着手し、生産者と消費者との交流施設として、また、地域の交通拠点施設として機能強化を図っていく。

**商工業の振興**・・・\*地場産業の活性化は、繊維製品の海外販路開拓に引き続き取り組んでいく。本市の工業の現状把握に努め、地場企業のニーズと問題点を整理し、今後の目指すべき方向性を見出すため国、県及び商工会議所や商工会など関係機関と連携を図りながら、新たに「井原地域産業振興ビジョン」の策定に向けた連絡会議を設置したい。

**農林業**・・・\*食の安心・安全や地産地消、食育などへの期待や関心の高まりもあり、地域の特性を生かした特産品の生産拡大に努める。星の郷青空市など市内直売所の連携を強化するとともに、井原線で「得得市」を活用した特産品のPRにも努める。\*水田農業では「地域水田農業ビジョン」に基づき、水田を活用した作物の産地作りと担い手育成対策など水田農業構造改革を推進する。\*広域営農団地農道やため池等の基盤整備を初め、農地、水、環境保全向上対策など地域資源の保全事業の地域にも取り組んでいく。\*中山間地域に耕作放棄地が拡大しており、全市的に空家も増加する傾向が見られるので、これらを有効に活用するためにも、新たなホームページを開設して、空家、空き農地の情報を全国発信し、団塊世代等のU・I・Jターンの受け皿を整備充実させるとともに、中山間地域の活性化に努める。

**観光**・・・\*与一まつりが30回の記念すべき年にあたり、義経・与一合同サミットの開催都市として承認されているなど、与一ゆかりの地としてこのイベントを内外に盛大にアピールしたい。\*本年の桜祭りでは、地域や団体から独自の協賛イベントを開催いただけると聞いているので、賑やかさの創出と同時に市民との協働による魅力ある観光行政ができるものと考えている。\*昨年11月、井原町商店街にNPO法人が主体となって、常設サロンが開設したが、健康相談や健康体操、学習講座などの介護予防のほか地域の集いの場として多くの事業を展開されており、空き店舗の有効活用と空洞化が進む商店街の活性化の観点から意義深いことと期待をしている。

### 5. 安全で快適に暮らせるまちづくり

**道路の整備**・・・\*市道志村百町線などにより市域の一体的な道路交通基盤を推進していく。\*井原中心市街地は、誰もが安心して歩行できる安心歩行エリアを引き続き整備する。\*国道313号の整備については、現在旧N.T.T井原営業所前交差点から西の笹賀工区の工事を進めており、また、芳井町の吉井から宇戸川の区間も歩道の整備を進める。\*県道の整備では、美袋井原線を初め、芳井油木線、下御領井原線、上稲木東江原線、黒忠明治線など生活や産業に欠かせない道路の改良を進める。

**河川環境の整備**・・・\*防災面からの治水対策としての整備を進めるほか、小田川の桜橋周辺では自然環境にも配慮した、小田川出会いとふれあいの水辺づくり事業に引き続き取り組む。

**鉄道井原線**・・・\*平成21年1月11日に開業10周年を迎える。地域住民にとって貴重な交通手段となっております。井原線の記念すべき年にあたり、井原鉄道、岡山県、及び関係市町と協力連携して記念事業を実施し、10周年を祝うとともに利用促進に結び付けたい。

**情報基盤の整備**・・・\*平成18年度から実施してきた芳井、美星地区における地域情報基盤整備では、本年度の工事も完了し、芳井地区で89.7%、美星地区では72.6%の世帯が井原放送の利用が可能となった。平成20年度中には両地区の全世帯をカバーし、均一な情報サービスを提供していきたい。\*市民体育館や市民会館など公共施設についてインターネットでいつでもどこからでも予約できるシステムを確立する。

**四季が丘団地**・・・\*第2期分譲84区画のうち13区画を分譲。全体では121区画となり、定住人口も320名に達した。

### 6. "My"意識でみんながつくるまちづくり

**市民活動への応援**・・・\*これまででは活動内容ごとに個別に保険に加入し活動中の事故に備えていましたが、様々な市民活動により幅広く対応できる「井原市市民活動総合保障制度」を導入する。

**協働のまちづくり市民推進室**・・・\*平成19年度は市内19箇所で開催。新年度も市内各地で開催する。

**ふれあいのあるコミュニティの形成**・・・\*昨年年度創設した財政支援制度「協働のまちづくり事業補助金」拡充とともに、平成20年度から新たに「地域活性化イベント補助金」を設け支援を強化する。

**市民活動センター**・・・\*平成20年度から指定管理者に施設の管理運営をお願いするが、施設の一層の機能強化と利便性の向上に大きな期待を寄せている。

**人権啓発の推進**・・・\*すべてに市民の人権が尊重され差別のない地域社会の実現に努力する。

**国際交流の推進**・・・\*現在560名を越える外国人が市内で生活されており国際交流推進体制の充実に努める。

